



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月31日

上場会社名 **santec株式会社** 上場取引所 東  
 コード番号 6777 URL <http://www.santec.com/jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鄭 台鎬  
 問合せ先責任者 (役職名) 業務部経営企画グループ長 (氏名) 山下 英哲 TEL 0568-79-3535  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	641	34.0	△58	—	31	—	18	△80.7
27年3月期第1四半期	478	△18.8	△95	—	△82	—	97	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 85百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △45百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	1.56	—
27年3月期第1四半期	8.12	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	9,095	7,937	87.3	663.63
27年3月期	9,173	7,971	86.9	666.50

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 7,937百万円 27年3月期 7,971百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,550	21.2	△80	—	△50	—	△75	—	△6.27
通期	3,600	14.1	240	1.2	340	△19.9	240	△47.1	20.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	11,961,100株	27年3月期	11,961,100株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	314株	27年3月期	314株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	11,960,786株	27年3月期1Q	11,960,786株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の御利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年6月30日まで。以下、「当第1四半期」)における世界経済は、米国景気が緩やかに拡大し、我が国でも景気回復の兆しが見られる中、ギリシャの債務問題、更に中国の成長鈍化に伴う東南アジア主要国経済の低迷を背景として世界経済の下方修正が報じられるなど、先行き不透明感が拭えない状況で推移しました。

このような中、当社グループは、平成28年3月期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで。)の基本方針として、「顧客ニーズの先取りとBU(ビジネスユニット)の自立成長」を掲げ、積極的な新製品の販売促進、品質維持・向上による顧客からの信頼獲得、及び社員の知的体力増進による業務効率化と生産性向上を目指し、事業活動を展開しております。

前述のような市場環境を背景に、当第1四半期の連結売上高は641百万円と、前第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで。以下、「前第1四半期」)の478百万円に比して34.0%の増加となりました。これは、近年減収傾向にあった光部品関連製品の大幅な売上増加をはじめとして、全事業において増収となった為であります。さらに、米国を中心とした海外での売上が伸びたことから、円安効果による利益が上乘せされました。この売上増加により、営業損失は58百万円と、前第1四半期の営業損失95百万円に比して改善しております。

為替差益の発生により、経常利益は31百万円と、前第1四半期の経常損失82百万円から利益へと転じました。当第1四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益は18百万円と、前第1四半期の97百万円に比して減少しておりますが、これは前第1四半期において、特別利益として受取補償金211百万円が計上されていたことが主な要因であります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 光部品関連事業

同事業におきましては、北米のテレコム向けが好調であったことに加え、モニター製品のベトナム工場移管が順調に進み生産量が増えたことから、当第1四半期の売上高は275百万円と、前第1四半期の173百万円に比して58.8%の大幅な増加となりました。顧客ニーズに対応した新製品の開発に向けて研究開発費を積み増しましたが、売上増加により、セグメント損失は13百万円と、前第1四半期のセグメント損失33百万円に比して縮小しております。

#### ② 光測定器関連事業

同事業におきましては、主力製品である波長可変光源製品の引き合いが、好調であったことから、当第1四半期の売上高は244百万円と、前第1四半期の197百万円に比して24.3%増加いたしました。利益率の高い製品の売上が、円安効果の高い海外で大幅に伸びたことが寄与し、セグメント損失は58百万円と、前第1四半期のセグメント損失82百万円に比して改善しております。

#### ③ システム・ソリューション事業

同事業の当第1四半期の売上高は120百万円と、前第1四半期の108百万円に比して11.8%増加いたしました。主として、モバイルデバイスなどからPCを操作するPC遠隔操作ソリューションが、好調であったことによるものです。一方で、新顧客開拓のため営業費用が増加した為、セグメント利益は12百万円と、前第1四半期の20百万円に比して減少しております。

当第1四半期において、業務資本提携先である韓国Keukey Inc.の誤入力修正ソリューション日本語版が完成いたしました。今後、様々なキーボード入力の現場に快適かつ効率的な文字入力手法を提供することで、今までにない新しい文字入力体験による作業効率と品質向上に寄与すべく取り組みを進めております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末(9,173百万円)に比べて78百万円減少し、9,095百万円となりました。これは、売掛金の減少などがあったことによるものであります。

#### ② 負債

当第1四半期末の負債は、前連結会計年度末(1,201百万円)に比べて43百万円減少し、1,157百万円となりました。これは、未払法人税の減少などがあったことによるものであります。

## ③ 純資産

当第1四半期末の純資産は、前連結会計年度末(7,971百万円)に比べて34百万円減少し、7,937百万円となりました。これは、配当による利益剰余金の減少があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期連結業績予想につきましては、平成27年5月8日に公表いたしました内容から変更はございません。なお、本資料は発表日現在において入手可能な情報に基づいた見通しであり、実際の金額は今後の様々な要因によって変動する場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、これによると著しく合理性を欠く結果となる場合には「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項(法定実効税率を使用する方法)に準じて計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,989,414	1,935,314
受取手形及び売掛金	1,052,104	663,170
電子記録債権	58,320	79,259
有価証券	244,092	502,593
商品及び製品	294,652	284,499
仕掛品	54,550	130,704
原材料	115,373	162,771
その他	48,978	65,932
貸倒引当金	△603	—
流動資産合計	3,856,883	3,824,245
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	1,581,678	1,563,764
機械装置及び運搬具(純額)	25,021	24,304
土地	1,592,577	1,592,577
リース資産(純額)	2,096	1,973
建設仮勘定	19,783	20,235
その他(純額)	67,906	70,685
有形固定資産合計	3,289,063	3,273,541
無形固定資産	23,553	26,870
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,962,171	1,928,645
その他	41,570	41,859
投資その他の資産合計	2,003,741	1,970,504
固定資産合計	5,316,359	5,270,916
資産合計	9,173,242	9,095,162

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	259,901	286,899
未払法人税等	112,065	13,916
賞与引当金	17,892	56,924
役員賞与引当金	15,449	—
その他	261,849	270,652
流動負債合計	667,158	628,392
固定負債		
退職給付に係る負債	351,119	356,908
資産除去債務	11,623	11,690
その他	171,434	160,625
固定負債合計	534,176	529,224
負債合計	1,201,335	1,157,617
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,978,566	4,978,566
資本剰余金	1,209,465	1,209,465
利益剰余金	1,329,445	1,228,547
自己株式	△119	△119
株主資本合計	7,517,358	7,416,459
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	445,679	500,910
為替換算調整勘定	8,869	20,175
その他の包括利益累計額合計	454,548	521,085
純資産合計	7,971,907	7,937,545
負債純資産合計	9,173,242	9,095,162

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	478,983	641,797
売上原価	260,795	351,560
売上総利益	218,188	290,236
販売費及び一般管理費	313,268	349,012
営業損失(△)	△95,080	△58,776
営業外収益		
受取利息	13,535	17,620
受取配当金	29,838	8,354
為替差益	—	62,971
その他	7,222	10,238
営業外収益合計	50,596	99,185
営業外費用		
支払利息	10	10
為替差損	27,728	—
休止固定資産関係費用	5,889	5,293
不動産賃貸費用	3,955	3,505
その他	0	40
営業外費用合計	37,583	8,849
経常利益又は経常損失(△)	△82,067	31,559
特別利益		
受取補償金	211,058	—
特別利益合計	211,058	—
特別損失		
固定資産除却損	45	114
特別損失合計	45	114
税金等調整前四半期純利益	128,945	31,445
法人税等	31,813	12,735
四半期純利益	97,132	18,709
親会社株主に帰属する四半期純利益	97,132	18,709



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	97,132	18,709
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△138,442	55,230
為替換算調整勘定	△4,415	11,306
その他の包括利益合計	△142,857	66,536
四半期包括利益	△45,724	85,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△45,724	85,245
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	システム・ ソリューション 事業	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高				
外部顧客への売上高	173,695	197,023	108,264	478,983
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	173,695	197,023	108,264	478,983
セグメント利益又は損失(△)	△33,409	△82,287	20,616	△95,080

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	システム・ ソリューション 事業	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高				
外部顧客への売上高	275,808	244,988	120,999	641,797
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	275,808	244,988	120,999	641,797
セグメント利益又は損失(△)	△13,256	△58,398	12,879	△58,776

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。